

「バガス」ってなに？バガスの特徴と利用するメリット

さとうきびのカス「バガス」

「バガス」とは、さとうきびから砂糖を作る過程で生まれる廃棄物のことです。より具体的には、砂糖の元となる糖汁をさとうきびから絞った後に残る、茎や葉などの残渣を「バガス」と言います。

さとうきびは、世界70か国以上で生産されている作物です。生産量は世界で約19億トン（2019年度）であり、約8億トンである米の倍以上の生産量を誇ります。

そのため、さとうきびの残渣である「バガス」も毎年約1億トン以上と膨大な量が発生しています。発生したバガスは主にボイラー燃料として活用されていましたが、使い切れずに余剰分は廃棄されています。



さとうきび畑

「バガス」の特徴

バガスは木材に比べて柔らかいことが特徴です。そのため、木材よりも少ないエネルギーでパルプ製造が可能になります。

また、バガスを活用した紙や容器は自然由来の原料で作られます。そのため、微生物による分解が可能で、仮にゴミとして自然界に流出しても、自然に土に還ることができるのです。



さとうきびの搾りカス「バガス」

「バガス」を活用するメリット

森林保護



バガスは紙製品の材料になります。木材の代替品としてバガスから紙製品を作れば、木材使用量を減らし、森林を保護することができます。

そして森林保護は、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全につながります。バガス活用はSDGsへの取り組みになるのです。

廃棄物リサイクル



砂糖の副産物として生まれ、廃棄物として余剰分が捨てられてきた「バガス」。

バガスを活用することは、廃棄物リサイクルに他なりません。「ゴミ」「廃棄過程で発生する温室効果ガス」「エネルギー使用量」の削減に、貢献することができます。

省コスト・省エネ



木材から紙を作る場合、木の伐採→運搬という手順が必要です。しかし、バガスは紙製造工場と隣接した製糖工場で発生するため、この手順が不要です。

結果、伐採・運搬過程で発生するコストやエネルギーを削減することができます。

さとうきびから砂糖を作る過程で生まれる「バガス」を活用することで、環境保全への貢献をはじめ、SDGsへの貢献が可能です。チェーンストリーム株式会社では、バガスから作ったバガス食器のOEM製造を行っています。お客様のご要望に合うバガス食器・容器のご提案をいたします。下記連絡先からお気軽にお問い合わせくださいませ。



chainstream
チェーンストリーム 株式会社

〒634-0063 奈良県橿原市久米町568番地 オーバン神宮前301号
Mail : info@chainstream.com Tel : 050-4560-0188
LINEでのお問い合わせは右記のQRコードから

LINEはこちら

